

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-83948(P2010-83948A)

【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2008-252932(P2008-252932)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/85 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 63/85

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月9日(2011.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

テレフタル酸を主成分とするジカルボン酸と1,4-ブタンジオールを主成分とするジオールとを、エステル化反応させた後、次いで重縮合反応させてポリブチレンテレフタレートを製造する方法であって、ジオール化合物含有量が5重量%以下である有機チタン化合物をエステル化反応槽へ添加するポリブチレンテレフタレートの製造方法。

【請求項2】

エステル化反応槽へ添加する有機チタン化合物を、エステル化反応槽付属の精留塔底部から還流されるジオール中、及び/または、ジカルボン酸とジオールとのスラリー中へ添加する請求項1記載のポリブチレンテレフタレートの製造方法。

【請求項3】

ジオール化合物が、1,4-ブタンジオールである請求項1または請求項2に記載のポリブチレンテレフタレートの製造方法。

【請求項4】

有機チタン化合物が、テトラ-n-ブチルチタネートである請求項1から請求項3のいずれかに記載のポリブチレンテレフタレートの製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明者らは、上記の目的を達成するために鋭意検討を重ねた結果、本発明に至った。すなわち、本発明は、

(1) テレフタル酸を主成分とするジカルボン酸と1,4-ブタンジオールを主成分とするジオールとを、エステル化反応させた後、次いで重縮合反応させてポリブチレンテレフタレートを製造する方法であって、ジオール化合物含有量が5重量%以下である有機チタン化合物をエステル化反応槽へ添加するポリブチレンテレフタレートの製造方法、

(2) エステル化反応槽へ添加する有機チタン化合物を、エステル化反応槽付属の精留塔底部から還流されるジオール中、及び/または、ジカルボン酸とジオールとのスラリー中

へ添加する(1)記載のポリブチレンテレフタレートの製造方法、

(3)ジオール化合物が、1,4-ブタンジオールである(1)または(2)に記載のポリブチレンテレフタレートの製造方法、

(4)有機チタン化合物がテトラ-n-ブチルチタネートである(1)から(3)のいずれかに記載のポリブチレンテレフタレートの製造方法を提供するものである。